

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ASCENT APEX		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.590	△RG	0.025	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール		

**テストボール：ASCENT APEX**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

**比較対照ボール：ASCENT PEARL**

フレアーの幅  インチ

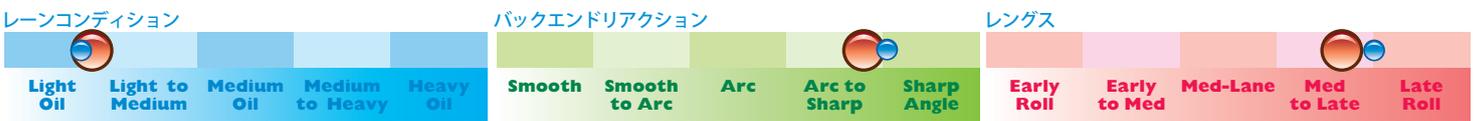
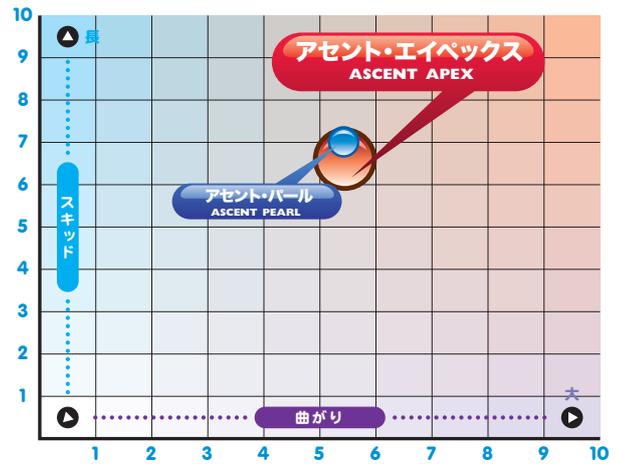
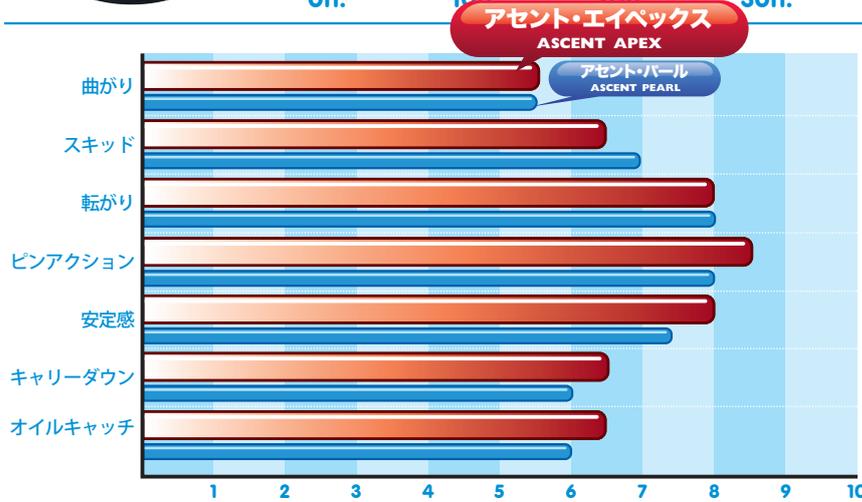
PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

Fusion Pearl Reactive cover stockの代表的なPrimal RageとTurmoil HFS (High Friction Solid) cover stockのCovert Revolt.この二つでMOTIV社のボールは日本のみならず、全世界にニーズを増やしたことは言うまでもありません。今回ご紹介するAscent APEXは、Primal Rageと同系のキャッチ系カバーストックですが、Fusion XL(Xtra Length)というベースは変更せずに配合比を変えてスキッドが長くできるようになっています。

投球したイメージはFusion XLカバーストックはFusionカバーと見た目やさわり心地は変わらないのですが、軽くスキッドしてくれる印象がありました。ただしオイルの上を滑るというイメージではなく、ややグリップ感を残し直進する感じです。RGが高めで△RGが低いReaconコアとの相性も良く、大きくフレアを起こししっかりと軸移動するボールとはまたイメージの違った、細かく軸移動を行いながら細かく向きを変えることがライトなコンディションに適しており、後半活躍するボールになると思います。

前作Ascent Pearlと比較投球を行いました。曲がりのイメージの差はあまり感じられませんでした。かえてドライゾーンでの反応の良さはAscent Pearlのほうが俊敏に感じたぐらいで、APEXを良く感じたのはピンアクションでした。今までAscentシリーズはどちらかと言うと走りを重視してピンアクションはやや硬めでしたが、このAPEXはかなり改善されています。ライトオイルを中心にピンアクションまで期待できる性能に仕上がっているということは後半”勝負できる”ボールが出来たということになります。後半勝負できるボールは今貴重です。この機会お見逃しなく！

### 特記事項

**Fusion系カバーストックのライトオイル対応のFusion XL(Xtra Length)カバーストック搭載。スキッドがあり、曲がりが少ないボールは今や希少。数量限定ですのでオーダーはお早めに。**